

自治体における高齢化社会に対応した廃棄物処理体制の構築を技術的に支援します。

1. 事業目的

- ① 高齢化社会に対応した収集運搬等の処理システムについて、調査分析を行う。
- ② モデル自治体において実際に制度設計及び高齢者ごみ出し支援をテスト的に行うモデル事業を実施する。
- ③ ガイドラインを作成し、市町村等に広く周知する。

2. 事業内容

我が国の高齢化率は現在26.7%に達している。今後、総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、2060年には39.9%に達し、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると推計されている。

高齢化社会や核家族化の進展等に伴い、高齢者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しに課題を抱える事例も生じている。

既に、一部市町村等においては高齢者ごみ出し支援が開始されている。

- ・ 高齢化社会に対応した収集運搬等の処理システムについて、事例の抽出、課題の抽出、特徴の分析等を行う。
- ・ 実際に制度設計及び高齢者ごみ出し支援をテスト的に行うモデル事業を実施する。
- ・ 自治体の規模、地理条件、高齢化率等に応じて参考とすべき事例を含めた収集運搬等の制度設計のためのガイドラインを作成する。

3. 事業スキーム

- | | |
|--------|------------------|
| ■ 事業形態 | 請負事業 |
| ■ 請負先 | 民間事業者・団体 |
| ■ 実施期間 | 平成30年度～令和2年度（予定） |

4. 事業イメージ

